

県・市町村の振り分け

項目の内容	記載する先	例
発行者： 県 県調査組織	県のリスト	『A遺跡の調査』 〇〇県教委編 〇〇県立埋蔵文化財センター発行 → 〇〇県のリスト
発行者： 市町村 市調査組織	市町村のリスト	『△△市B遺跡の調査』 B遺跡調査団編 △△市教委発行 → △△市のリスト
発行者： 県 自治体 の併記	①シリーズがある場合、シリーズのリスト	『C遺跡の調査 △△市文化財報告2』 〇〇県教委・△△市教委編 〇〇県教委・△△市教委発行 →△△市のリスト
	②シリーズがない場合、県のリスト	『D遺跡の調査』 〇〇県教委・△△市教委編 〇〇県教委・△△市教委発行 →〇〇県のリスト
	③どちらのシリーズもある場合、県のリスト	『D遺跡の調査 △△市文化財報告2・〇〇県発掘報告書5』 〇〇県教委・△△市教委編 〇〇県教委・△△市教委発行 →〇〇県のリスト
発行者： 自治体 自治体 の併記	遺跡の所在地が1つの自治体の場合、 その自治体のリスト 遺跡の所在地が複数の自治体の場合、 県のリスト	『C遺跡の調査』(△△市と◎◎市にまたがる遺跡) △△市教委・◇◇市教委発行 →〇〇県のリスト
発行者： 大学 寺社 調査団 運輸局 個人 不明 その他 等	①編著が県か自治体の場合、 それぞれのリスト	『△△市D遺跡の調査』 △△市教育委員会編 □□大学発行 →△△市のリスト
	②上記以外の場合、 遺跡所在地(市町村)のリスト	『××市E遺跡の調査』 E遺跡調査団編 □□大学発行 →××市のリスト
	遺跡の所在地でとれない場合、 ①その発行者の所在市町村のリスト ②遺跡が広域の場合、 (A)1つの県内の場合、県のリスト (B)県でとれない場合、広域のリスト	『紀要』□□大学発行 →□□大学の所在市のリスト 『FF地方の遺跡』 →□□県のリスト 『近畿の遺跡』 →広域のリスト

自治体の報告書の記載順

記載順番	自治体の中での記載順
県	①県のシリーズのもの ②県の個別のもので出版年順
市町村コードの自治体順	①現行市町村のシリーズ ②現行市町村の個別のもので出版年順 ③旧市町村のシリーズ ④旧市町村の個別のもので出版年順